

ふくい街角景気速報

(平成30年12月分)

調査期間 平成30年12月10日～21日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは51.1となり、前月と比べ2.2ポイント上昇した。また、景気の先行き判断DIは47.5となり、前月と比べ0.3ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 51.1 (前月比 +2.2)

- 家計動向関連では、前月に比べ0.1ポイント上昇した。
- 企業動向関連では、前月に比べ6.2ポイント上昇した。
- 雇用関連では、前月に比べ0.4ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

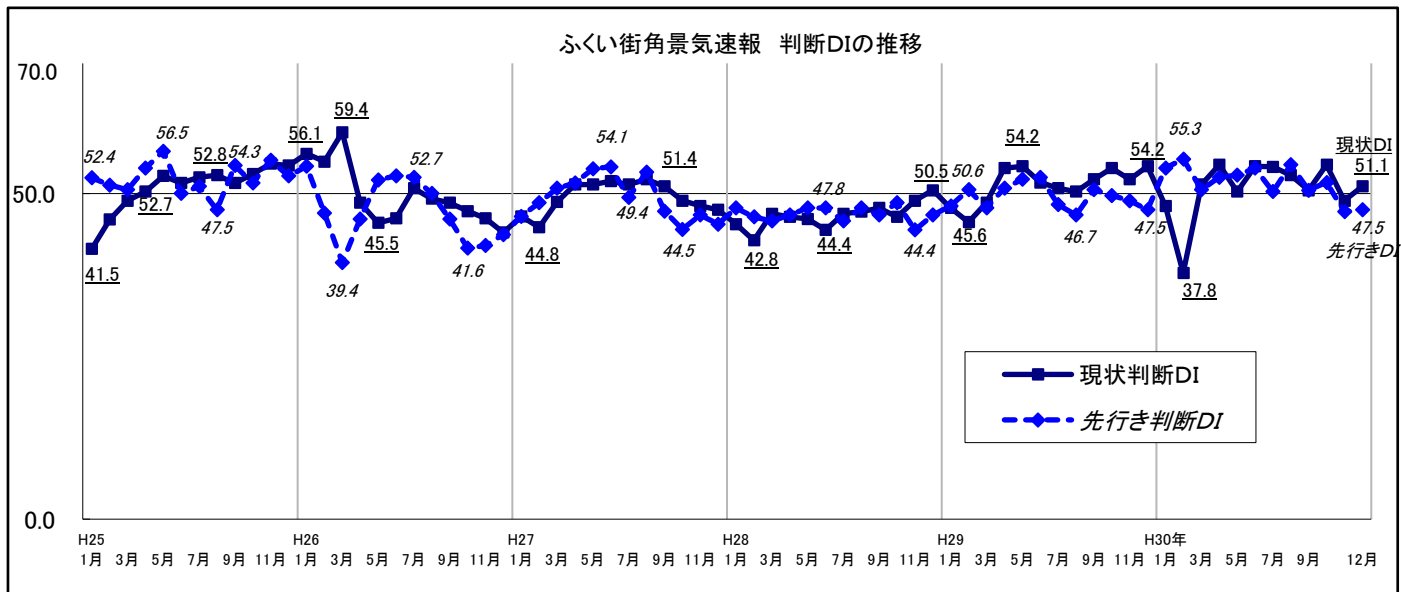
- 受注案件が増えており、景況感が大幅に上向きであると感じる。(一般機械製造業)
- 冬期賞与支給時期のため販売増の期待をしたが、特に大きな変化は見られなかった。(自動車販売・整備)

■景気の先行き判断DI 47.5 (前月比 +0.3)

- 家計動向関連では、前月に比べ1.2ポイント上昇した。
- 企業動向関連は前月に比べ1.6ポイント低下した。
- 雇用関連は、前月に比べ1.9ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

- 春節の外国人客の予約が順調に推移し、閑散期となる冬期間を上手く補っており、全体的に堅調である。(旅館)
- 海外情勢(米中貿易摩擦、EU問題)が混沌としており、国内に及ぼす影響が見通せず先行きの不透明感が強い。(繊維製造業)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	9	6	3	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	14	4	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	19	10	5	4
	計	100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H30 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		54.1	52.8	50.5	54.4	48.9	51.1	+2.2
家計動向関連		48.9	50.0	45.6	52.2	46.1	46.2	+0.1
小売		47.6	49.2	45.0	51.6	47.6	45.8	▲1.8
飲食		56.3	62.5	50.0	50.0	25.0	43.8	+18.8
サービス		50.0	47.7	45.8	54.2	45.8	47.9	+2.1
企業動向関連		58.6	55.5	53.8	57.3	50.8	57.0	+6.2
製造業		53.3	55.4	49.0	55.7	51.1	55.4	+4.3
非製造業		72.2	55.6	66.7	61.1	50.0	61.1	+11.1
雇用関連		61.5	56.3	59.6	55.8	53.8	54.2	+0.4

○回答別構成比

	年 月	H30 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなっている		7.7%	5.6%	2.2%	6.7%	3.3%	6.7%	+3.4
やや良くなっている		20.9%	18.9%	22.0%	20.0%	15.6%	13.3%	▲2.3
変わらない		53.8%	57.8%	53.8%	58.9%	57.8%	60.0%	+2.2
やや悪くなっている		15.4%	16.7%	19.8%	13.3%	20.0%	17.8%	▲2.2
悪くなっている		2.2%	1.1%	2.2%	1.1%	3.3%	2.2%	▲1.1

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H30 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		50.3	54.4	50.5	51.7	47.2	47.5	+0.3
家計動向関連		49.5	51.6	47.2	51.1	43.9	45.1	+1.2
小売		46.8	50.0	47.5	51.6	41.9	40.8	▲1.1
飲食		50.0	50.0	41.7	50.0	37.5	50.0	+12.5
サービス		56.8	56.8	47.9	50.0	50.0	54.2	+4.2
企業動向関連		50.8	59.4	53.0	54.8	51.6	50.0	▲1.6
製造業		50.0	57.6	54.2	54.5	51.1	47.8	▲3.3
非製造業		52.8	63.9	50.0	55.6	52.5	55.6	+3.1
雇用関連		51.9	52.1	55.8	46.2	48.1	50.0	+1.9

○回答別構成比

	年 月	H30 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなる		4.4%	4.4%	2.2%	4.4%	3.3%	2.2%	▲1.1
やや良くなる		17.6%	27.8%	20.9%	13.3%	10.0%	8.9%	▲1.1
変わらない		54.9%	50.0%	57.1%	66.7%	60.0%	67.8%	+7.8
やや悪くなる		20.9%	16.7%	16.5%	15.6%	25.6%	18.9%	▲6.7
悪くなる		2.2%	1.1%	3.3%	0.0%	1.1%	2.2%	+1.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなっている	企業 動向	坂井	一般機械	受注案件が増えており、景況感が大幅に上向きであると感じる。
		福井	金融機関	中小企業向け融資が拡大基調にあり、企業による設備投資拡大の動きが活発化しているように思われる。
		嶺南	食品	例年に比べ変化は少ないが、12月は特に繁忙期であり売上は伸びている。
		嶺南	運輸	工事や輸送の単価が上昇したため、売上も増加傾向にある。
②やや良くなっている	家計 動向	福井	小売店	猛暑の夏頃に比べ売上が回復傾向にあるが、いつまで続くか不透明である。
		嶺南	スーパー	客単価が少し回復している。
		嶺南	大型小売店	年末商戦、クリスマスなどのイベントにより売上は上昇している。
		嶺南	旅館	観光業では一年で一番忙しい季節であり、客数・売上とも順調である。
	企業 動向	嶺南	コンクリート製品	原子力発電所での工事と北陸新幹線工事の生コン需要により売上がアップしている。
雇用	嶺南	学校就職担当者	4年生の就活も終わりに近づくとともに、3年生を対象にした企業からの業界説明会の申込みや問い合わせが多く見受けられる。	
③変わらない	家計 動向	福井	商店街	来客の状況や車の在庫状況から判断し、3か月前と比べ目立った変化は見られない。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	平均気温が高く推移しているため、コートなどの重衣料は苦戦しているが、高品質な婦人特選商材は堅調である。
		福井	大型小売店	一時的にPayPayの影響で客数、売上が伸びたが、終了に伴い全体としては例年並みとなった。
		福井	自動車販売・整備	冬期賞与支給時期のため販売増の期待をしたが、特に大きな変化は見られなかった。
	企業 動向	丹南	眼鏡	発注については緩やかに良い方向になってきているが、実質の売上については、製造工程での行き詰まりにより伸びていないのが現状である。
		福井	一般機械	客先である建設機械業界は、ほぼ全世界市場の好景気により国内生産が好調に推移しており、先月同様に高操業が続く見通しである。
		福井	化学・プラスチック	受注状況は伸びの鈍さはあるものの、総じて堅調に推移している。
		福井	石油関連製品販売	原油価格の低下に伴い、燃料価格も低下しているが、省燃料化により使用量は減少している。また、雪が無いため冬季商品の販売量は減少している。
④やや悪くなっている	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	11月中はなかなか気温が下がらず冬物衣料の動きが悪い。
		福井	スーパー	青果物の相場安や、天候、気温により鍋物商材の販売がふるわずに客単価は伸び悩んでいる。
		福井	スーパー	売上高が前年を上回ることが厳しい状況にある。
		福井	ビジネスホテル	3ヶ月前は福井国体会期前の期間であったため、他も空きがなく高単価でも予約が入った。
	企業 動向	福井	眼鏡	相変わらず地方の専門店での売上が悪く、特に関西方面が良くない。
		福井	一般機械	国内の設備投資が一巡したため、受注が落ちついてきた。
⑤悪くなっている	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	株価と連動して高額商材の動きが止まっている。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなる	企業 動向	福井	不動産・建設	3か月後は、春の移動シーズンになるため年間で一番の繁忙期になる。	
②やや良くなる	家計 動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	12月以降のバーゲン需要が見込める。	
		嶺南	旅館	春節の外国人客の予約が順調に推移し、閑散期となる冬期間を上手く補っており、全体的に堅調である。	
		福井	ビジネスホテル	3月は春の繁忙シーズンの入口にあたるため、良くなると思われるが、新規ホテルが2月頃オープンするとの事で懸念している。	
	企業 動向	福井	石油関連製品販売	今期は前年に比べ雪が少なそうであるため外出するお客様が増える予想。	
③変わらない	家計 動向	嶺南	雇用	学校就職担当者	3か月後は、企業の会社説明会が解禁されることから、今より景気が良くなると予想される。
		福井	小売店	今年暖冬の予報であるが、まだ不透明であるため客足の動きは予想できない。	
		福井	百貨店、ショッピングセンター	お客様の衝動買いが減少傾向にあり、完全に目的買いになっている。	
		奥越	土産品等販売店	観光客の減少などから、冬期間は期待できない。	
		坂井	観光・レジャー施設	天候に左右されにくい屋内型のアトラクションを充実させることに加え、年末年始のイベントを昨年よりも強化するなどして今後の需要増加を期待している。	
	福井	自動車販売・整備	2019年10月の消費増税に対する自動車関係の税制優遇策が打ち出されたが、いつ購入した場合がお得なのか消費者が迷い、買い控えが予想される。		
	企業 動向	福井	一般機械	来年の上期までは、現状のまま推移する見通し。	
		丹南	電気機械	大手スマートフォン向けで受注の減少は見られるものの、コンデンサ需要全体としては堅調であり、生産自体は継続して高水準の操業が見込まれる。	
		福井	化学・プラスチック	今後の成り行きに懸念材料はあるものの、当面の見通しは引続き堅調と考える。	
		福井	IT関連	現在の受注見通しにより判断。	
		嶺南	運輸	現在、作業量が多く人手が足りていないため、対応しきれない。	
		奥越	雇用	学校就職担当者	企業の方々との次年度の採用についての情報交換の中でも大きな変化がないように感じる。
	④やや悪くなる	家計 動向	奥越	商店街	市民の高齢化や人口減少により、売上増加は見込めない。
坂井			小売店	降雪等により、地元農産物の出荷減少が見込まれるため。	
福井			スーパー	暖冬による青果物の相場など、客単価への影響が不安である。	
坂井			スーパー	株安、円高の傾向にあることや、来年の消費税増税による消費の低迷が考えられる。	
嶺南			大型小売店	1月の正月セールが終わると閑散期となる。	
坂井			レストラン	これから寒くなると雪が積もるため、お客様の外出が少なくなる。	
企業 動向		丹南	繊維	海外情勢（米中貿易摩擦、EU問題）が混沌としており、国内に及ぼす影響が見通せず先行きの不透明感が強い。	
		丹南	鉄鋼	米中貿易摩擦等の外部要因の影響が考えられる。	
⑤悪くなる	企業 動向	福井	繊維	コストが上昇しており、業界の動向が良くない。	

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等	店長・売場主任	10
	スーパー	
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)